

高圧力の細い水流で多彩な素材を加工

米山製作所は、高圧力の細い水流によってさまざまな素材を切断・加工する「ウォータージェット加工」の専門企業だ。手がけるのは、一点モノ、あるいは小ロット量製品の製造が中心。中には、航空・宇宙やインフラ産業の分野で広く知られるプロジェクトに関わる製品も含まれている。また、不具合を起こしたモノの内部構造を調べるときに、製品の切断を依頼されるケースもあるそうだ。

「ウォータージェットで加工できる素材は幅が広く、金属やガラス、プラスチックはもちろん、スポンジなど柔らかいモノでも対応が可能です。さらに、ウォータージェットでの加工は、熱影響や化学反応、そしてストレスが極めて小さいので、ダメージが少なく素材機能を活かすことができます。そのため、レーザー加工など他の手法ではうまく作れなかった製品が、ウォータージェットを使ったために希望通り仕上がったというケースは多いですね。もちろん、ウォータージェットは万能ではありません。当社ではお客さまのご要望を伺い、他の加工法が

ベターだと判断した場合は、そちらをご紹介することもあります」と、代表取締役を務める米山俊臣氏は語る。

ウォータージェットの良さを知って売り上げ増

米山氏の父・堅持氏が創業したのは、1975年のこと。以来、主に手がけていたのはプリント基板用金型の加工だった。その後、公的機関から「社長が機械を動かして仕事をしているようじゃダメ」と助言を受け、1990年にウォータージェット加工機を初めて導入。しかし、最初は、なかなか仕事につながらなかった。

「当時、ウォータージェットをご存じのお客さまはほぼゼロ。それどころか、私たち自身もその特徴を理解していなかったため、適切な提案ができず売り上げを伸ばせなかったのです。そんな頃、会社の「ビジネスサポートTOKYO」や商談会を通じて新規取引先と出会えたのはありがたかったですね。徐々にお客さまが増え、さまざまなニーズに応えるうちに、ノウハウや、『この種の加工ならウォータージェットの強みが生かせる』

と自信を持てる分野が増えました」(米山氏)

そして、1996年、同社は大きな決断をする。主要顧客だったプリント基板メーカーが移転したのを機に、金型加工をやめてウォータージェット専業となったのだ。

「その企業から得られる売上高は大きかったので、一緒に移転することも考えました。でも、その道を選んだら、顧客企業に合わせて今後も移転を迫られる可能性があります。それなら、技術力を磨いて独立独歩で進むべきだと判断したのです。その後は、さらに本気になってウォータージェットに取り組みました」(米山氏)

技術力向上と他社との連携を常に模索

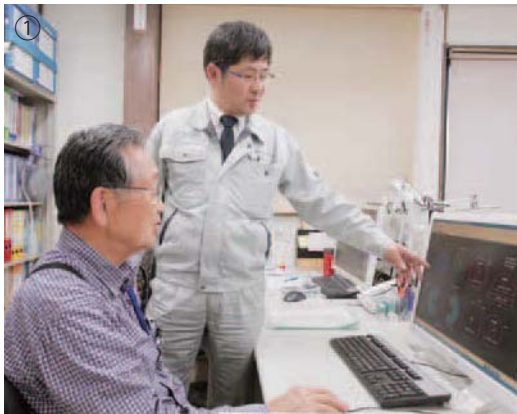
米山製作所は2009年、経済産業省の「元気なモノ作り中小企業300社」に選定された。技術力や提案力を評価され、顧客も着実に増えている。しかし、米山氏は、決して慢心していない。

「自分たちの技術がいつまで通用するのか。また、ウォータージェットのように素材に与えるストレスが小

さく、さらに高い精度を出せる新たな工法が登場したらどうするのか。そういった不安は常に抱えていますね。ただ、新技術が実用化されるまでに数年はかかるもの。そこで、情報を集めるなど新技術や業界の動向を勉強する努力は怠らないようにしています。また、ウォータージェットの技術を究めることにもこだわり続けるつもりです」(米山氏)

米山氏が掲げる今後の目標は、ウォータージェットの事業をとにかく継続すること。

「長年商売をする中で、『自社技術の強み・弱みを理解し、お客さまに寄り添った提案ができれば、ファンは増える』と実感しました。そこで、今後は、ウォータージェットの利点をさらに情報発信し、課題解決を求めのお客さまと出会う努力をしたいですね。また、世の中のさまざまな工法には、それぞれに強みと弱みがあります。お客さまの課題を解決するため、ウォータージェット以外の加工技術を持っている企業と連携することもぜひ進めていきたいですね」(米山氏)



- ① 創業者で現在は相談役を務める堅持氏(左)と代表取締役の俊臣氏
- ② 高圧の水流で素材を加工。水と天然石の研磨剤だけしか使わないため、環境にもやさしい
- ③ 加工するモノに対する負担が小さいため、製品の内部を調べる検査にもよく使われる

(2ページの写真) 金属やセラミック、プラスチック、ゴムなど、硬い素材から柔らかい素材まで対応出来るのがウォータージェットの利点の1つ



職員から～取材を終えて～

公社が発行する広告誌「ビジネスサポートTOKYO」に、16年連続で掲載いただいています。「一番の広告手段」と屈託のない笑顔で語ってくれる米山社長は、そのお人柄ゆえに社員の信頼も厚く、チームワークは抜群です。平成28年度公社創立50周年記念にて「功労賞」を受賞。これからも変わらぬ結束力で、挑戦を続けていくことでしょう。

(多摩支社 内田昇)

株式会社米山製作所

(会社概要)

代表者：代表取締役 米山 俊臣 氏

資本金：1575万円

従業員：9名(2018年1月現在)

所在地：西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎東松原24-10

TEL：042-556-2358 FAX：042-556-2131

URL：<https://www.yoneyama.co.jp/>